

第3章 対応の記録

第2節 広報・市民啓発

感染状況の公表	52
市の基本的な考え方を示す取組み	54
市民に対する広報(市政だより通常号・臨時号)	56
市民に対する広報(ホームページ・SNS等)	57

節	2 広報・市民啓発					
細節	-					
項目名	感染状況の公表					
担当課	医療政策課・経済企画課					
取組内容	<p>【記者発表】(令和2年3月27日～令和5年5月8日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規感染者、集団発生事例(クラスター)、死亡事例が発生するごとに記者発表を実施。(感染者1例目は県が発表。2例目から市が発表。) ・新規感染者数の増加を受けて、発表内容は、順次簡素化を図った。 ・令和2年3月27日から開始。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが変更されたことに伴い、令和5年5月8日に終了。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記者発表の情報を、市ホームページに掲載した。 ・新規感染者数、検査実施人数、コールセンター相談件数をオープンデータとして公表した。 <p>(新規感染者数以外の項目は、全数届出の見直しに伴い、令和4年9月26日をもって終了。新規感染者数は下記に記載の記者発表終了に合わせて終了。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記者発表資料を基に、区別感染者数を週1回公表。 <p>(全数届出の見直しに伴い、令和4年9月26日を持って終了。)</p> <p>【クラスター防止協力金】(令和2年4月～令和3年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度、不特定多数の人が利用し、クラスターが発生しやすい施設において新型コロナウイルス感染症感染患者が発生した場合に、施設名を公表するなど、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に協力した事業者等に対し、給付金(1事業所当たり100万円)の支給を実施。 					
実績	<p>【記者発表件数】</p> <table border="1"> <tr> <td>集団発生</td> <td>470</td> </tr> <tr> <td>死亡事例</td> <td>611</td> </tr> </table>		集団発生	470	死亡事例	611
集団発生	470					
死亡事例	611					
成果と課題	<p>【記者発表・ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の感染状況を迅速に公表することにより、市民の感染症対策への意識向上の一端を担ったと考える。 ・クラスター発生施設において、利用者リスト等が無い場合には、施設名を公表し、利用者から保健所への連絡を呼び掛けることで、濃厚接触者を特定した。 					

- ・ 記者発表については、公表する情報量が多いこと、平日・休日を問わず毎日実施することから、職員の負担が非常に大きかった。

【クラスター防止協力金】

- ・ 本制度は、公表が感染拡大防止に有効であると保健所が判断、かつ施設が公表に協力した場合に市へ情報提供を頂き協力金の支払いをするものであり、要件を満たす事例がなかった。結果として協力金の支払いはなかったが、部署間で連携して市内施設でのクラスター防止に取り組むことができた。

節	2 広報・市民啓発																	
細節	-																	
項目名	市の基本的な考え方を示す取組み																	
担当課	医療政策課																	
取組内容	<p>【新型コロナ下で市民生活を送るための道しるべ】(令和2年6月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年6月、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化することが予想された中、改めて「新しい生活様式」を日常に取り入れ、感染防止対策にしっかりと取り組むため、対策のポイントなどをまとめた「道しるべ」をホームページ等で市民へ提示した。 <p>【新型コロナウイルス週報】(令和2年8月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年8月、市ホームページによる感染状況のお知らせに加え、感染状況や県・市からの要請、注意喚起などをまとめた「新型コロナウイルス週報」を発行し、市内公共施設等で紙及びデジタルサイネージでの掲示を開始した。 5類移行に伴い新規感染者数等の報告が定点医療機関のみとなることから、令和5年5月11日に新型コロナウイルス週報を終了し、同月25日から隔週で「新型コロナウイルスに関するお知らせ」の発行を開始し、引き続き感染対策等の周知啓発を行った。 <p>【コロナ差別がゼロのまち宣言】(令和2年10月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年10月、新型コロナウイルス感染症を起因とする差別的行為や誹謗中傷から市民の生活を守るため、市の3つの宣言と市民等への3つのお願いを定め、市政だより、ホームページ等で広報した。 <p>【新型コロナウイルス感染症対策条例】(令和2年12月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年12月に、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため感染症対策を推進し、それによって市民の皆さまの生命及び健康を保護し、同時に安全で安心な市民生活を守ることを目的として、新型コロナウイルス感染症対策条例を制定した。 																	
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>週報発行回数 (毎週木曜日)</td> <td>32</td> <td>53</td> <td>52</td> <td>28</td> <td>165</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記のほか、各種事業について市ホームページ、SNS、市政だより等の各種広報媒体を活用し、市民へ広く周知を行った。</p>						年度	R2	R3	R4	R5	計	週報発行回数 (毎週木曜日)	32	53	52	28	165
年度	R2	R3	R4	R5	計													
週報発行回数 (毎週木曜日)	32	53	52	28	165													

<p>成果と課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ下で市民生活を送るための道しるべは、新型コロナウイルス感染症により市民生活が大きな影響を受け、市民の不安が高まる状況において、市から市民へのメッセージとして有効であったと考える。 ・新型コロナウイルス週報は、市内公共施設等に掲示することで、普段インターネットを利用していない方へ、感染状況や感染拡大防止に関する情報を取得する機会を提供することができた。施設所管課からは、施設の掲示スペースの都合上、ページ数が増えると掲示できないという相談があり、ページ数の調整が必要だった。 ・コロナ差別がゼロのまち宣言は、当時、新型コロナウイルス感染症に罹患した方や濃厚接触者、医療従事者等に対する差別や偏見が問題となっていたため、そのような方々に対する不当な差別的行為や誹謗中傷による人権侵害を防止するため、市として宣言を行った。また、小・中・高・特別支援学校の全170校で啓発動画を活用した指導を実施したほか、市長や千葉市のスポーツチームに所属する著名選手によるメッセージ動画を作成し、市内の観光イベントやプロスポーツチームの試合会場で放送するなど、千葉市一丸となって啓発に取り組んだ。 ・新型コロナウイルス感染症対策条例は、市が的確かつ迅速に感染症対策を実施することを明らかにするとともに、市民及び事業者の皆様感染症予防や市の対策への協力、不当な差別的取扱いを行わないよう協力を求める根拠として制定した。
--------------	---

節	2 広報・市民啓発			
細節	—			
項目名	市民に対する広報(市政だより通常号・臨時号)			
担当課	広報広聴課			
取組内容	<p>【ちば市政だより通常号】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に関する1回目の緊急事態宣言(令和2年4月7日)の直近号(令和2年5月号)で、市政だより1ページ(タブロイド判)の概ね2分の1程度の紙面を割り、注意喚起に関する広報「新型コロナウイルス感染症にご注意ください」を行って以後、新型コロナウイルス感染症が5類に移行(令和5年5月8日)する令和5年5月号まで毎号(通算37回)、概ね1ページ分、新型コロナウイルス感染症に対する注意喚起やワクチン接種場所などに関する広報を行った。 <p>【ちば市政だより臨時号】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症に対する知見や、市有施設の閉館状況、各種支援制度、新型コロナウイルスワクチンの接種時期や方法等に関する広報を行った。 			
実績	【臨時号・新型コロナウイルス感染症対策特集】			
	発行日	発行部数	新聞折り込み数	配架数
	令和2年3月5日	308,450	248,450	60,000
	令和2年3月12日	308,450	248,450	60,000
	令和2年4月16日	308,450	248,450	60,000
	令和2年12月25日	288,450	248,450	40,000
	令和3年1月14日	256,440	241,250	15,190
	【臨時号・新型コロナワクチン接種特集】			
	発行日	発行部数	新聞折り込み数	配架数
	令和3年4月30日	258,950	241,250	17,700
	令和3年5月19日	258,950	241,250	17,700
	令和3年6月7日	253,000	235,300	17,700
	令和4年1月17日	229,000	211,650	17,350
	令和4年1月27日	229,000	211,650	17,350
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市政だより通常号で毎月注意喚起を行ったほか、新型コロナウイルス感染症の発生状況や注意していただきたい内容、新型コロナウイルスワクチンの接種が可能な医療機関情報など突発的な情報については、臨時号で周知できた。 市内に、常時、市内全域をカバーできるポスティング事業者が存在しないことから、市民に最も早く、広く情報を届けるため、新聞折込を選択したものの、新聞購読率が低下している現在、より多くの市民に情報を届けることが課題として残る。 			

節	2 広報・市民啓発
細節	—
項目名	市民に対する広報(ホームページ・SNS等)
担当課	広報広聴課・医療政策課
取組内容	<p>【ホームページ】</p> <p>○市トップページへの対応(令和2年2月12日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時モードの切替えによる情報発信 ・新型コロナウイルス感染症に関する情報をまとめた専用エリアの設置 ・カルーセルパネル等のビジュアルを用いた注意喚起の実施 <p>○個別ページの作成(一例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症に関する情報(特設ページ) ・新型コロナウイルス感染者の発生について(個別の感染者に関するページを含む) ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う各種支援に関する情報 ・特別定額給付金 ・新型コロナウイルスワクチン接種についてのお知らせ ・新型コロナウイルスワクチンの集団接種会場のご案内 ・新型コロナウイルスワクチンの個別接種会場のご案内 ・新型コロナウイルス感染症の患者と診断された方、千葉県登録センターに登録された方へ <p>・多言語による新型コロナウイルス感染症に関する情報</p> <p>【SNS】(令和2年1月～)</p> <p>※活用媒体: X、Facebook、LINE、Yahoo! くらし</p> <p><発信内容(一例)></p> <p>所管課の依頼により、主に以下に係る情報の周知を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の一斉休校(保育所(園)、子どもルームに係る情報等を含む) ・市有施設の休館 ・給付金(持続化給付金、特別定額給付金等)、個人、事業者向け支援策 ・感染拡大防止のお願い ・新型コロナウイルス感染症情報、新型コロナウイルスに関するお知らせ(週報) ・新型コロナウイルスワクチンの接種(接種券送付、接種予約を含む) <p>【市民への感染防止の呼びかけ】(令和2年7月～)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月、市ホームページやSNS、ポスター等を活用した市民への感染拡大防止啓発を開始した。

実績	【市HPのアクセス件数】						
	年度	R1	R2	R3	R4		
	件数	42,121,326	83,236,967	72,793,907	61,432,621		
	備考	台風15号(9月) 台風19号(10月)	初の緊急事態宣言 (4月7日～5月25日)				
	【媒体ごとの投稿件数等】 (単位:件)						
	年度		R1	R2	R3	R4	
	X	フォロワー数	91,000	96,000	100,500	101,000	
		投稿数	692	513	538	601	
	Facebook	いいね数	5,700	6,000	6,000	6,000	
		投稿数	512	423	448	474	
LINE	友だち数	21,000	40,000	50,500	57,000		
	投稿数	235	206	218	302		
※フォロワー数、いいね数、友だち数は概数							
【市民への呼びかけ】							
年度		R2	R3	R4	R5※	計	
HP掲載回数		17	20	13	2	52	
※令和5年度は9月末時点							
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の発生状況や注意喚起、ワクチン接種に関する情報を広く周知することができた。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平時と比べアクセス数が大幅に増加したが、ホームページの閲覧に影響はなかった。 市民生活の維持に必要な情報に対して、ホームページ上でより分かりやすく、たどり着きやすくするための手法を検討する必要がある。 ホームページを作成する所管課における対応や品質にバラつきがあるため、広報マインドの醸成を行っていく必要がある。 <p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害以外の有事に係る情報発信は過去に例がなかったため、庁内調整に苦慮し、情報発信の迅速性と、情報の正確性の調整に難航した。 新型コロナウイルス感染症という特質上、不安を煽りすぎない文言表現や、発信タイミングなどを慎重に考慮し対応した。 						

【市民への感染防止の呼びかけ】

- ・ 市民への感染防止の呼びかけは、市ホームページやSNSでの周知のほか、市政だより、ラジオCMでの放送、鉄道駅構内等でのポスター掲示など、様々な広報媒体を活用することで、若者から高齢者まで幅広い年齢層に感染防止を呼びかけることができた。